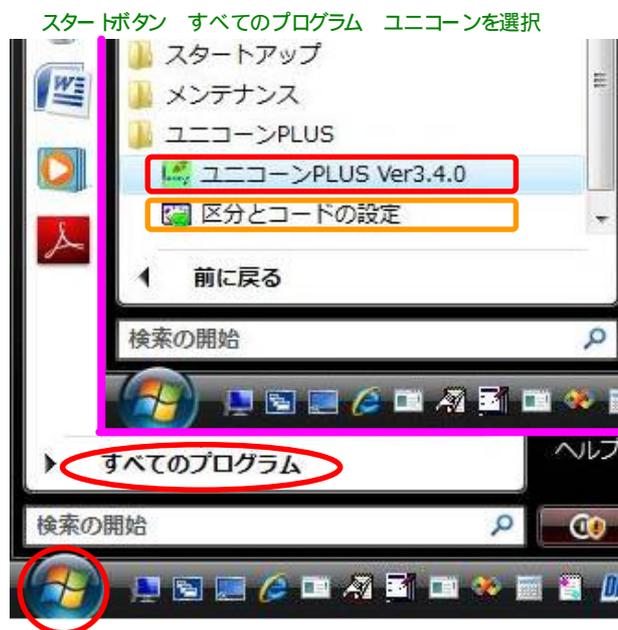


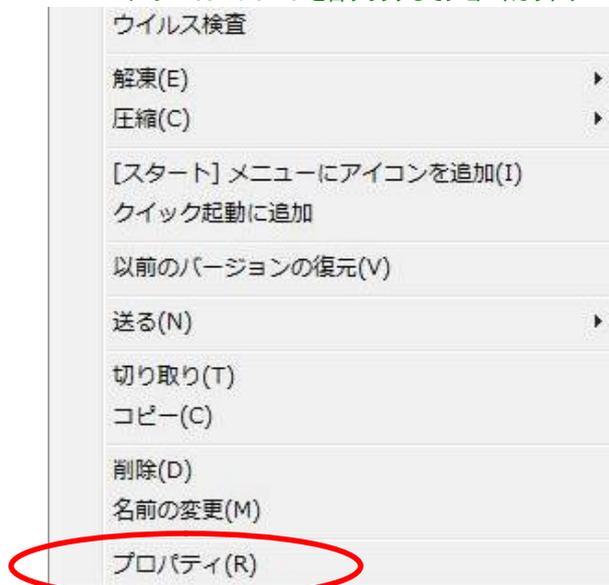
Windows Vista でユニコーンPLUS を使う場合の注意点

Windows Vistaには「ユーザー・アカウント制御 (User Account Control。以下UAC)」という仕組みが用意され、ユーザーが不用意に管理者アカウントでコンピュータを利用することを禁止しています。UAC が有効になっていると、たとえ管理者アカウントでシステムにログオンしていても従来のようにシステムを利用できず、一般ユーザーと同じようになりかなり権限が制限されます。

Windows Vistaで「[ユニコーンPLUS Ver3.4.0](#)」を使用する場合も例外ではなく、一部の処理で動作が不安定になったり、エラーとなったりすることがあります。これを回避するため、下記の方法にて設定を変更する必要があります。

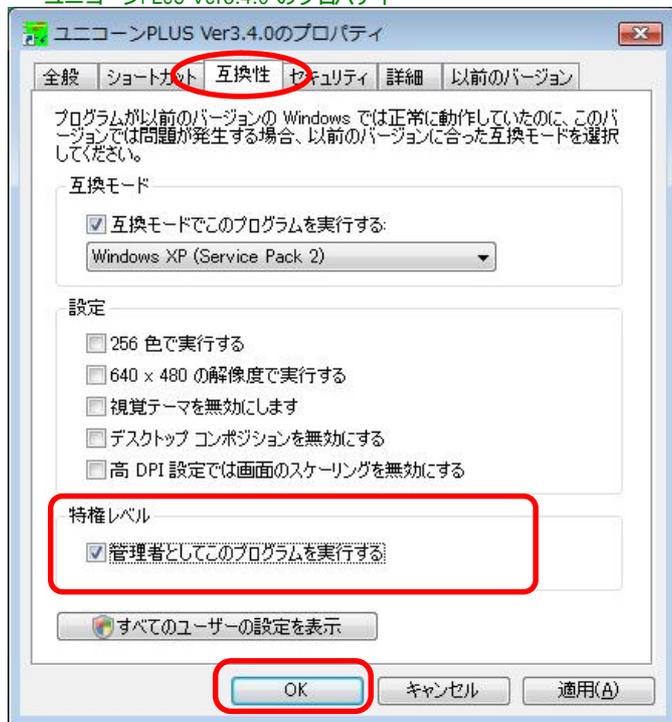


ユニコーンPLUS Ver3.4.0 を右クリックしてショートカット・メニューを表示

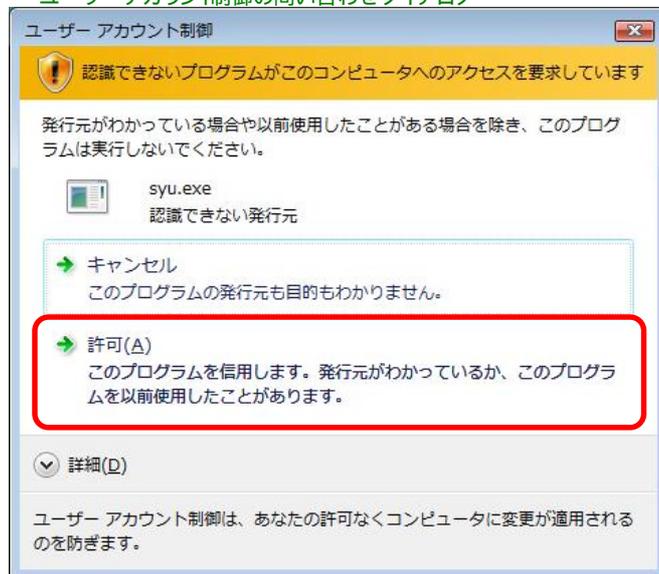


スタート から「すべてのプログラム」をクリックし、「ユニコーンPLUS」の「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を右クリックしてショートカット・メニューの「プロパティ」をクリックします。

ユニコーンPLUS Ver3.4.0 のプロパティ



ユーザーアカウント制御の問い合わせダイアログ



[互換性] タブにある [特権レベル] の「**管理者としてこのプログラムを実行する**」にチェックを付け、[OK] ボタンをクリックします。

また、「[区分とコードの設定](#)」も同様に「**管理者としてこのプログラムを実行する**」にチェックを付けます。これで起動時に必要な設定は、完了です。

但し、この設定を行うとユニコーンPLUS の起動を行うたびにユーザーアカウント制御の問い合わせダイアログが表示されます。[許可(A)] をクリックするとユニコーンPLUS が起動します。

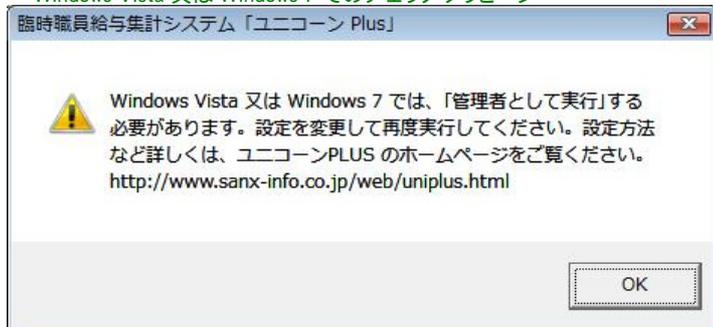
Windows Vista でユニコーンPLUS を使う場合の注意点

UAC 環境においては "C:\Program Files" フォルダ下のファイルへの書き込みはシステムによって制限され、実際には別のフォルダ()下に保存されます。これは「ファイルの仮想化(Virtualization)」と呼ばれるもので UAC が有効な場合にのみ実施されます。前頁の設定を行うことで、一時的に管理者特権を取得した状態となり、データの参照先が仮想化フォルダから本来のフォルダに切り替わります。そのため、期待していたものとは違うデータが参照されることとなります。

C:\Users\[アカウント名]\AppData\Local\VirtualStore というロケーションであり、「バーチャルストア」と呼ばれます。

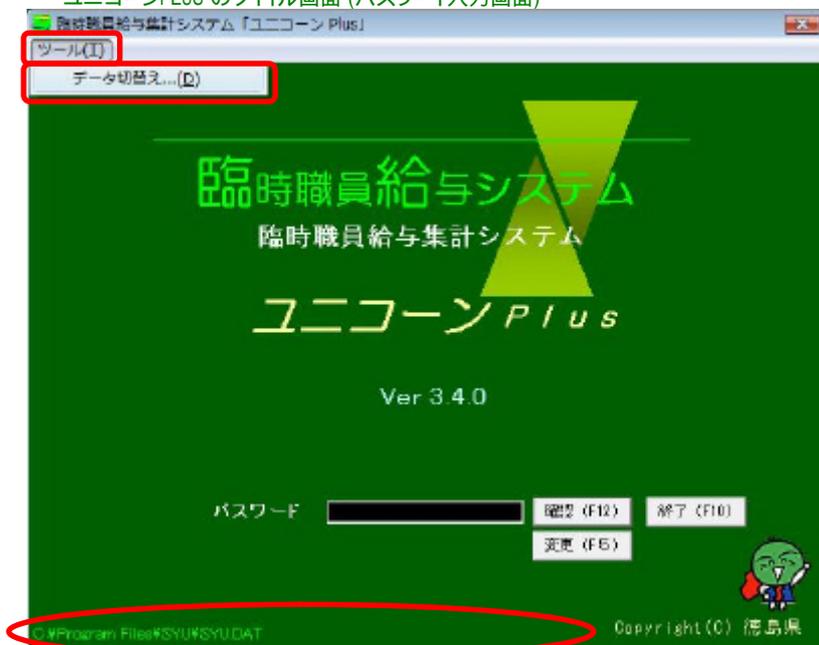
これに対応するため「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」では、データの参照先を任意フォルダに変更できる機能を追加しました。操作方法は、下記をご覧ください。

Windows Vista 又は Windows 7 でのチェック・メッセージ



「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」より Windows Vista 又は Windows 7 上で起動された場合に限り、管理者として実行しているかどうかのチェックを行うようになりました。管理者として実行されていない場合は、左記のメッセージが表示されます。

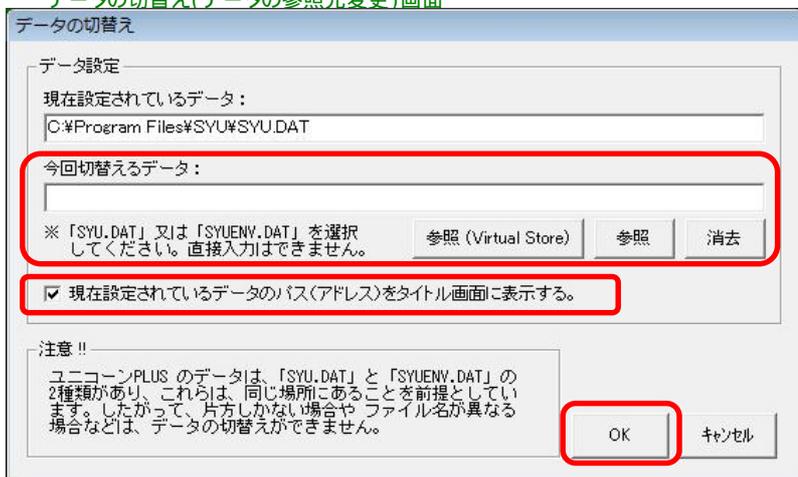
ユニコーンPLUS のタイトル画面 (パスワード入力画面)



「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を起動し、「タイトル画面」(パスワード入力画面)で[Alt]キーを押下すると画面左上に「ツール(T)」メニューが表示されます。これをクリックし、更に「データ切替え...(D)」をクリックすると「データの切替え画面」が表示されます。



データの切替え(データの参照先変更)画面



参照先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、「今回切替えるデータ」欄にそのパスを設定します。但し、直接入力ではできません。

[参照(Virtual Store)]ボタンは、仮想化フォルダへの参照を容易にするためのもので、それ以外は [参照] ボタンと同じ機能のものです。

「現在設定されているデータのパス(アドレス)をタイトル画面に表示する。」にチェックを付けると「タイトル画面」の左下にデータの参照先パス(アドレス)が表示されます。

設定項目に間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックし、設定を確定します。ここで確定した内容は、次回この画面で変更を行うまで保持されます。

【変更例】 「ユニコーンPLUS」が "C:¥Program Files¥SYU" にインストールされており、今まで一度も管理者として実行していなかった場合

先頭頁の指示通り、ショートカットのプロパティにある「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを付ける。「区分とコードの設定」も同様。

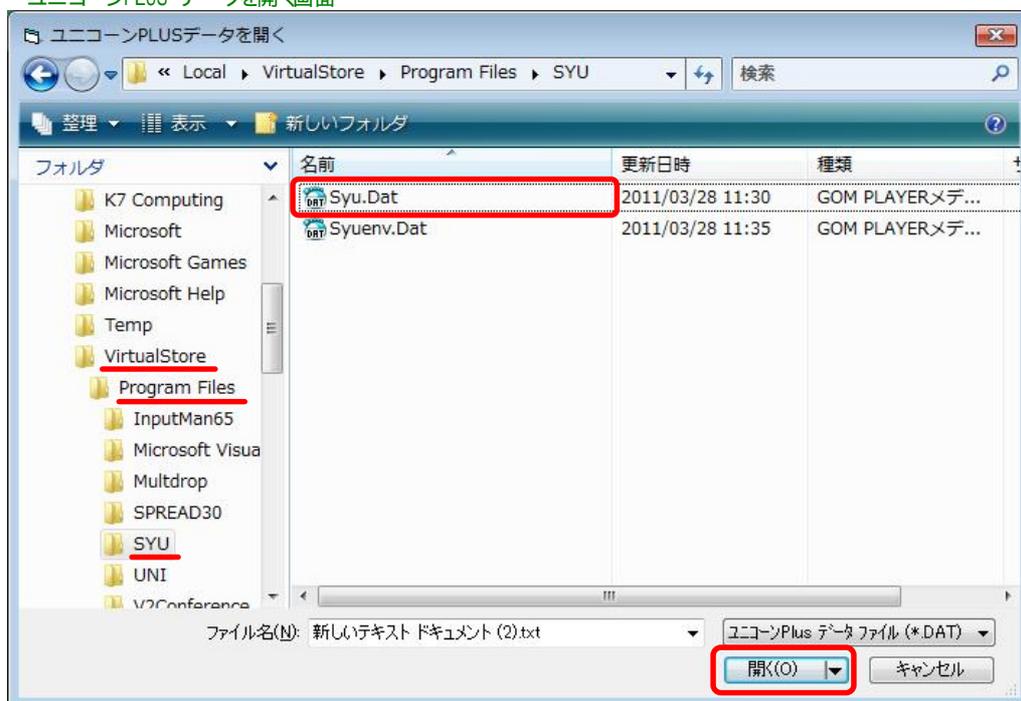
【確認】 でチェックを付ける前は、仮想化フォルダのデータを参照していたので、仮想化フォルダに最新のデータが保存されている。

「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を起動し、タイトル画面で [Alt] キー  を押下して「データの切替え画面」を表示する。

【確認】 で表示した画面の「現在設定されているデータ」欄に "C:¥Program Files¥SYU¥SYU.DAT" と表示されている。

[参照 (Virtual Store)] ボタンをクリックし、表示された「ユニコーンPLUS データを開く画面」で "VirtualStore" フォルダ下の "Program Files" フォルダ下の "SYU" フォルダ下の "SYU.DAT" を選択して [開く(O)] ボタンをクリックする。

ユニコーンPLUS データを開く画面



【確認】 で選択したデータのパスが「今回切替えるデータ」欄に "C:¥Users¥[アカウント名]¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥SYU¥SYU.DAT" と表示されている。

「現在設定されているデータのパス(アドレス)をタイトル画面に表示する。」にチェックを付けて [OK] ボタンをクリックすると、タイトル画面に戻る。

【確認】 タイトル画面の左下に「今回切替えるデータ」欄に表示されていたものと同じパスが表示されている。

ユニコーンPLUS のパスワードを入力し、メニュー画面が表示されたら「登録済みデータ一覧表示」や「職員マスタ入力」などで最新のデータかどうか確認する。

最新のデータでない場合は、もう一度 "C:¥Program Files¥SYU" に切替えてデータの確認を行う。

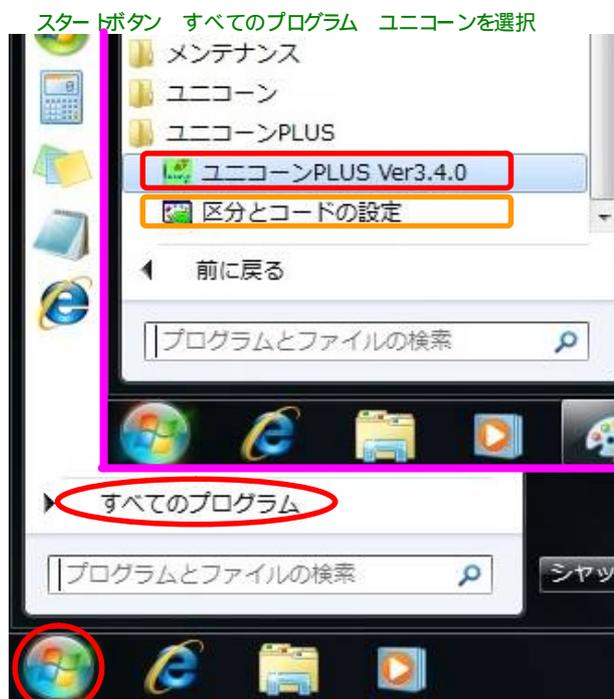
尚、上記の内容は「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」についてのものです。最新版は、ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

お問い合わせ先 〒770-8003 徳島市津田本町5 - 2 - 37 株式会社サンエックス情報システム
TEL 088-663-5051 FAX 088-663-5052 e-mail uni@sanx-info.co.jp
ユニコーンPLUS HP : <http://www.sanx-info.co.jp/web/uniplus.html>

Windows 7 でユニコーンPLUS を使う場合の注意点

Windows 7 には「ユーザー・アカウント制御 (User Account Control。以下UAC)」という仕組みが用意され、ユーザーが不用意に管理者アカウントでコンピュータを利用することを禁止しています。UAC が有効になっていると、たとえ管理者アカウントでシステムにログオンしていても従来のようにシステムを利用できず、一般ユーザーと同じようになりかなり権限が制限されます。

Windows 7 で「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を使用する場合も例外ではなく、一部の処理で動作が不安定になったり、エラーとなったりすることがあります。これを回避するため、下記の方法にて設定を変更する必要があります。

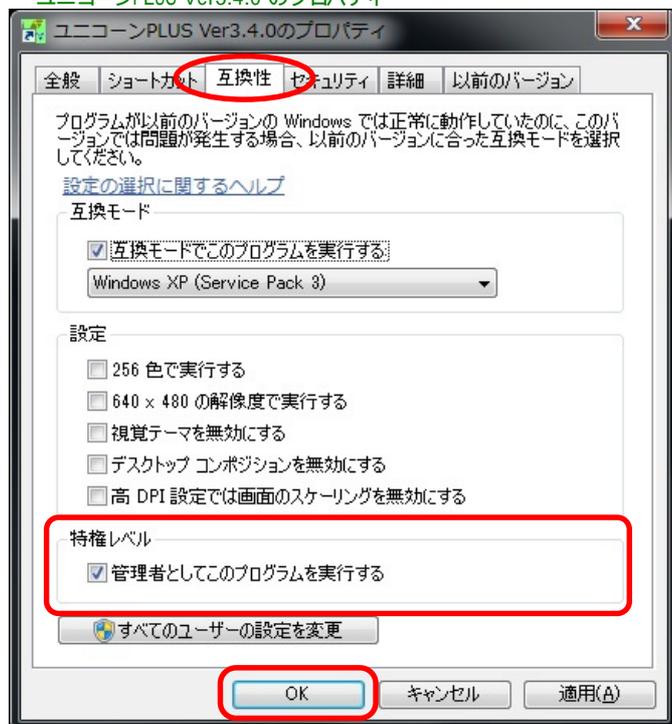


ユニコーンPLUS Ver3.4.0 を右クリックしてショートカット・メニューを表示

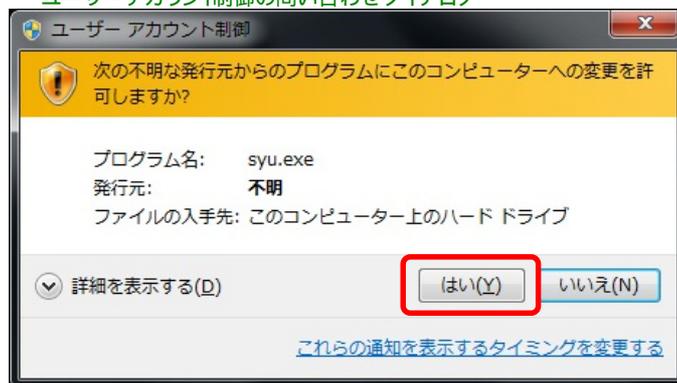


スタート から「すべてのプログラム」をクリックし、「ユニコーンPLUS」の「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を右クリックしてショートカット・メニューの「プロパティ」をクリックします。

ユニコーンPLUS Ver3.4.0 のプロパティ



ユーザーアカウント制御の問い合わせダイアログ



[互換性] タブにある [特権レベル] の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを付け、[OK] ボタンをクリックします。

また、「区分とコードの設定」も同様に「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを付けます。これで起動時に必要な設定は、完了です。

但し、この設定を行うとユニコーンPLUS の起動を行うたびに「ユーザーアカウント制御の問い合わせダイアログ」が表示されます。[許可(A)] をクリックするとユニコーンPLUS が起動します。

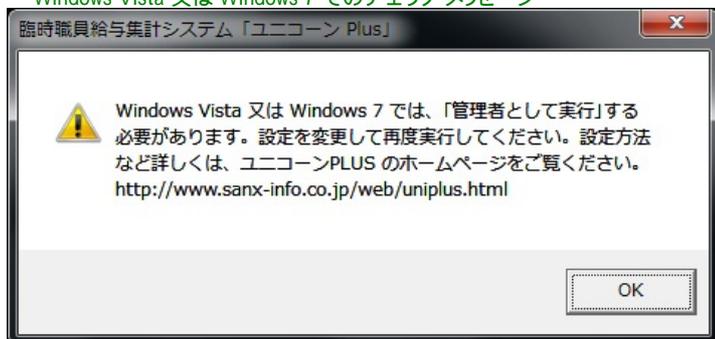
Windows 7でユニコーンPLUS を使う場合の注意点

UAC 環境においては "C:\Program Files" フォルダ下のファイルへの書き込みはシステムによって制限され、実際には別のフォルダ()下に保存されます。これは「ファイルの仮想化(Virtualization)」と呼ばれるもので UAC が有効な場合にのみ実施されます。前頁の設定を行うことで、一時的に管理者特権を取得した状態となり、データの参照先が仮想化フォルダから本来のフォルダに切り替わります。そのため、期待していたものとは違うデータが参照されることとなります。

C:\Users\[アカウント名]\AppData\Local\VirtualStore というロケーションであり、「バーチャルストア」と呼ばれます。

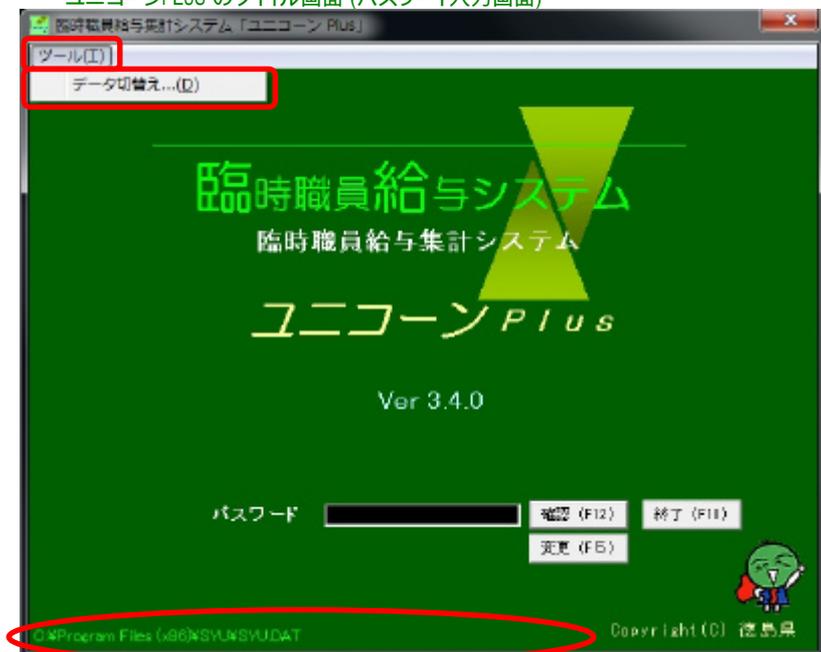
これに対応するため「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」では、データの参照先を任意フォルダに変更できる機能を追加しました。操作方法は、下記をご覧ください。

Windows Vista 又は Windows 7 でのチェック・メッセージ



「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」より Windows Vista 又は Windows 7 上で起動された場合に限り、管理者として実行しているかどうかのチェックを行うようになりました。管理者として実行されていない場合は、左記のメッセージが表示されます。

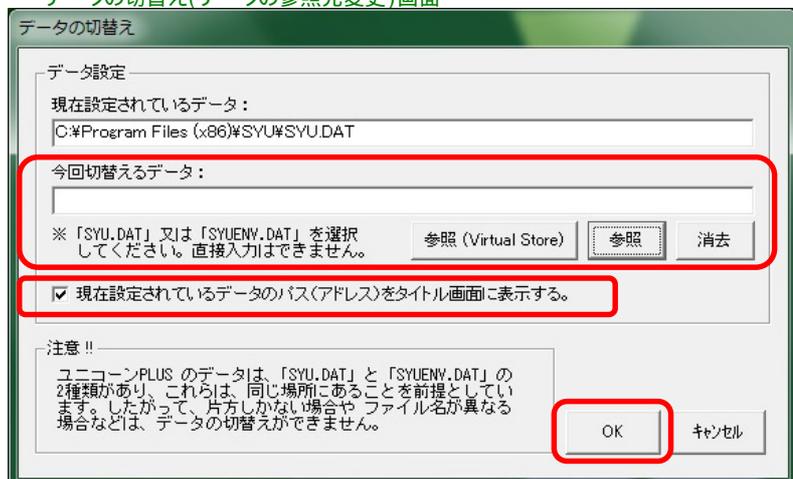
ユニコーンPLUS のタイトル画面 (パスワード入力画面)



「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を起動し、「タイトル画面」(パスワード入力画面)で[Alt]キーを押下すると画面左上に「ツール(T)」メニューが表示されます。これをクリックし、更に「データ切替え...(D)」をクリックすると「データの切替え画面」が表示されます。



データの切替え(データの参照先変更)画面



参照先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、「今回切替えるデータ」欄にそのパスを設定します。但し、直接入力ではできません。

[参照(Virtual Store)]ボタンは、仮想化フォルダへの参照を容易にするためのもので、それ以外は [参照] ボタンと同じ機能のものです。

「現在設定されているデータのパス(アドレス)をタイトル画面に表示する。」にチェックを付けると「タイトル画面」の左下にデータの参照先パス(アドレス)が表示されます。

設定項目に間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックし、設定を確定します。ここで確定した内容は、次回この画面で変更を行うまで保持されます。

Windows 7でユニコーンPLUSを使う場合の注意点

【変更例】 「ユニコーンPLUS」が "C:¥Program Files¥SYU" にインストールされており、今まで一度も管理者として実行していなかった場合

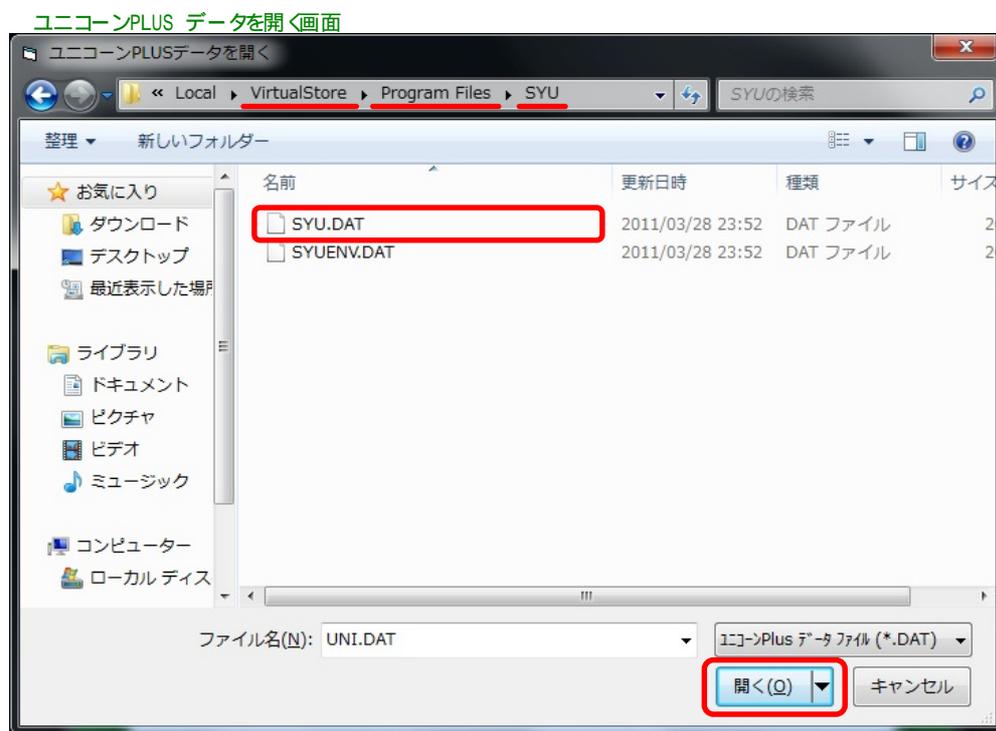
先頭頁の指示通り、ショートカットのプロパティにある「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを付ける。「区分とコードの設定」も同様。

【確認】 でチェックを付ける前は、仮想化フォルダのデータを参照していたので、仮想化フォルダに最新のデータが保存されている。

「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」を起動し、タイトル画面で [Alt] キー  を押下して「データの切替え画面」を表示する。

【確認】 で表示した画面の「現在設定されているデータ」欄に "C:¥Program Files¥SYU¥SYU.DAT" と表示されている。

[参照 (Virtual Store)] ボタンをクリックし、表示された「ユニコーンPLUS データを開く画面」で "VirtualStore" フォルダ下の "Program Files" フォルダ下の "SYU" フォルダ下の "SYU.DAT" を選択して [開く(O)] ボタンをクリックする。



【確認】 で選択したデータのパスが「今回切替えるデータ」欄に "C:¥Users¥[アカウント名]¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥SYU¥SYU.DAT" と表示されている。

「現在設定されているデータのパス(アドレス)をタイトル画面に表示する。」にチェックを付けて [OK] ボタンをクリックすると、タイトル画面に戻る。

【確認】 タイトル画面の左下に「今回切替えるデータ」欄に表示されていたものと同じパスが表示されている。

ユニコーンPLUS のパスワードを入力し、メニュー画面が表示されたら「登録済みデータ一覧表示」や「職員マスタ入力」などで最新のデータかどうか確認する。

最新のデータでない場合は、もう一度 "C:¥Program Files¥SYU" に切替えてデータの確認を行う。

尚、上記の内容は「ユニコーンPLUS Ver3.4.0」についてのものです。最新版は、ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

お問い合わせ先 〒770-8003 徳島市津田本町5-2-37 株式会社サンエックス情報システム
TEL 088-663-5051 FAX 088-663-5052 e-mail uni@sanx-info.co.jp
ユニコーンPLUS HP : <http://www.sanx-info.co.jp/web/uniplus.html>